

大転石の観察

江戸末期の安政5年（1858年）4月9日（旧暦）にマグニチュード7前後の大地震が飛越地方を襲いました。この地震は、旧白川村鳩ヶ谷から立山カルデラにかけて伸びている跡津川断層の活動によるもので、その東端の立山カルデラに隣接した大鷲山の大崩壊をまねきました。この崩壊により、湯川や真川がせきとめられ、自然のダム湖ができました。それぞれのダム湖はやがて決壊し、下流の富山平野を2度にわたる大洪水が襲いました。この大変な洪水は、普段流されることのない巨石を下流へ押し流し、横江から大場にかけて数十個の巨石が残されたのです。常願寺川河床で流れる水のはたらきを学習するとともに、大転石を観察することで、日常はめったにおきない大洪水も、数百年～数千年のスケールではおこるかもしれないことを体感し、日ごろから災害に備えることを学ぶよい体験学習にできる教材といえるでしょう。さらには、社会科の学習と関連付けて、佐々堤や立山カルデラの砂防工事等、災害を防ぐための多くの取り組みを学ぶこともできます。

この大転石のうち、平野部の小学校から近くて見学しやすいのが、新常願寺橋の左岸上流側にある大場の大転石と右岸上流側にある西大森の大転石（立山町指定天然記念物）です。この他にも、立山町横江野開地内から常願寺川右岸側へ降りる道のそばには、大場の大転石に劣らない規模の大転石が見つかります。また、立山橋のひとつ上流側にある左岸連絡水路橋（ほうすい橋）から常願寺川上流方向をながめると、巨大な大転石がいくつも見えます。

大場大転石

観察対象	大転石
観察できる人数制限	1学級単位が望ましい
バス駐車スペース	あり
トイレ	上流部の殿様林、富山地鉄大川寺駅等には、公衆のトイレがある。
備考	大転石の中ではアクセスしやすい。また、付近には河川敷へ降りやすいポイントもあり、「流れる水のはたらき」の学習に適している。



西大森の大転石

観察対象	大転石
観察できる人数制限	1学級単位が望ましい
バス駐車スペース	あり
トイレ	上流部の殿様林、富山地铁大川寺駅等には、公衆のトイレがある。
備考	立山町指定天然記念物。常願寺川右岸にあり、アクセスしやすい。左岸側のやや下流には大場の大転石がある。堤防に半分以上埋まっているのが本体で、上にのせてある石は、後で他から運んで人工的にのせた石である。



横江野開地内から常願寺川右岸側河川敷に降りるときに見られる大転石

観察対象	大転石
観察できる人数制限	1学級単位が望ましい
バス駐車スペース	マイクロバスなら可
トイレ	なし
備考	立山町いきいき長寿センター裏から、常願寺川へ降りられる。アクセス道入口にはゲートがあるが、横江地区の区長にゲートのカギを借りることができる。横江頭首工管理事務所の「増水注意」の看板があるが、立山土木事務所によると、河川へ降りる際の許可申請は必要ない。ゲートから徒歩10分ほどで、大転石にたどりつける。



左岸連絡水路橋

観察対象	常願寺川河床に点在する大転石
観察できる人数制限	1学級単位が望ましい
バス駐車スペース	マイクロバスなら橋のそばまで行ける
トイレ	なし
備考	複数の大転石が観察できる場所だが、ここへ来るなら、左岸連絡水路橋の学習もテーマにするとよい。理科と社会科の学習を兼ねられる場所としておもしろい。

